

国語科学習指導案

授業日時 令和元年 9 月 13 日（金） 3 校時

授業学級 1 年 C 組 男子 19 名 女子 20 名

授業会場 1 年 C 組教室

授業者 _____

指導教員 _____

1 単元名 「自分の友人関係に向き合おう」（1 年「星の花が降るころに」）

2 主眼

1 C の問いに対して自分の視点で追究していく場面で、個人で叙述や場面等に注目して追究していたり、グループ交流で同じ視点で読んできた友と交流することを通して、自分の視点から 1 C の問いに対して自分の考えを持つことができる。

3 本時の位置（全 4 時間中第 3 時）

<前時>個人活動において自分の視点で作品を追究した。

<次時>全体で 1 C の問いを追究していき、1 C の問いに対して結論を出す。

4 指導上の留意点

- ・1 時間目にて生徒から出た視点をもとに似たような視点でグループを作ること、個人で読み取った内容の共有から、さらに発展的な追究ができるようにする。

5 展開

過程	学習内容【学習形態】	予想される生徒の反応や意識（◎）	教師の支援（・）評価	時間
導入	1 前回の活動を振り返り、本時の活動の見通しを持つ。	◎前時、私は「銀木犀の意味するもの」について個人追究をしきったように思う。同じような視点を持った他の人は違う読み取り方をしてるのかな。	・個人での追究に限界を感じている生徒に「より深く、広く追究をするためにはどうしたらよいか」と問うことで、他者の読み取りかたに興味を持ち、グループでの活動が活発になるようにする。	3
	学習問題：「私はどのように変化したのか」を自分の追究の視点から考えよう。			
	学習課題：叙述をもとにして考えたことをグループで共有しよう。			
展開	2 自分の視点から作品を追及する。【個人】	◎前回中途半端なところまでしか追及できなかったから、グループ活動に入る前に自分なりの読み取りをしっかり持っておきたい。	・叙述をもとに読み取りを進めていくよう喚起することで、グループ活動にて叙述をもとに個々人の読み取りを理解し、1 C の問いに対して本文に則して自分の考えを持つことができるようにする。	20
	3 提示されたグループごとに集まり、個人で考えたことを共有し、話し合う。 【グループ】	◎「私」の心情の変化を追っていこうとすると「おばさん」や「戸部君」についても知りたくなってしまって個人追究がしきれていない感じがしたが、グループ内で読み取りを共有することで補完できた。私が夏実以外の新しい関わりに気付いたから心情の変化が生まれたんだ。 ◎私は、「私」のことが好きだから「戸部君」は絡んでくるのだと思っていたけ	・「戸部君」や「おばさん」という新しい関わりに触れる前と後の「私」の情景描写の変化に注目するよう促すことで、新しい関わりの中で「私」が段階的に変化していることに気付くことができるようにする。 ・「戸部君」との関わり合いの中で「私」が夏実に固執している自身	10 7

	4 似たような視点の友の読み方を生かして物語を読み直し、1Cの問いについて自分の考えを持つ。 【個人・全体】	れど、〇〇さんは「私」と「夏実」がうまくいっていないのを知っていて「私」を励ますために絡んできたを読みとっていた。サッカーボールの話があるわけがやっとわかった気がする。 ◎本文中で「夏実」の描写はすごく少ないから、読み解くのが難しかったけれど、2人で話してもう一度「夏実」について追っていったら、「夏実」にすごくこだわっている「私」が浮かび出てきた。これなら1Cの問いについて考えられるかも。 ◎わざわざ本文に書かれているわけだからお婆さんの台詞はすごく大事だというのは分かっているけれど、その内容がいまいちよく分かってなかった。〇〇さんは「古い葉っぱ」は夏実との関係にとらわれていた「私」なのではないかと言っていた。ということはその後の「大丈夫、きっと何とかやっていける」というのは「私」が夏実にこだわっている「自身」から脱したときの決意の言葉なのかもしれない。 ◎「木の下をくぐって出た」という叙述を私は「夏実との仲直りのための勇気が出た」と解釈していたけれど、〇〇さんは葉の叙述から「新しい自分になる」ことを意味しているのではないかと言っていた。「夏実」にこだわっていた証拠の「花」を捨てているから、確かにそうなのかもしれない。 ◎自分の追究したことをもとに「私はどのように変化しているのか」考えてみたけれど、最後の「木をくぐって出た」という私の心情の変化が「夏実との関係を解消した」であっているのか不安だ。じっくりこない。	を自認し、新しい関係性に目を向けている様子を認識することができるようにする。 ・「夏実」の描写のみ追うのではなく、「夏実」と「私」の関わり全体に目を向けるよう勧めることで、「夏実」に執着している「私」に気付き、語り部である「私」の心情の変化によって「夏実」の描写がなくなっているのだということに気付くことができるようにする。 ・「お婆さん」の台詞の意味をその場面だけでなく本文を通して読み解くよう促すことで、「私」の心情にどのように影響し、どう変化させたのか読み解くことができるようにする。 ・「銀木犀」の描写の前後をどのように読み解いたかグループで話し合う中で、「私」の心情の変化のみならず他の登場人物の言動などにも注目している友の読み取りを大切にしよう促すことで、銀木犀の意味することを多面的に考え、銀木犀の描写こそが「私」の心情の変化をよく表していると気付くことができるようにする。 ・2時間目では考えの及ばなかったことや、広がったり深まったりした読み取りを意識しながら書くよう声掛けすることで、グループ活動にて友と考えを共有することによって追究が深まるという利点を理解し、次時での全体共有に意欲的に取り組めるようにする。 ・分からない、繋がらないと思ったところを学習シートに書くよう指示することで、次時で特に注目して得るべき点を把握することができるようにする。 個人での追究やグループでの情報共有を経ることで、1Cの問いに対して自分の考えを持てているか、学習シートの記述から評価する。 ・グループ内での共有をうまく自分の読み取りに組み込めない生徒には、繋がっていないところも含めて自分の学習シートに書くように
--	--	--	---

			促すことで、次時以降における自分の考えを構成するための参考資料となるようにする。	
終末	5 本時のお互いの学びを共有し、次時の展望を持つ。【全体】	◎次回は全体での共有だから、グループで得たことを生かして自分の読み取りを全体に共有できるようにしよう。 ◎「戸部君」という視点から追究してみたけれど、なんだか1 Cの問いにつながらない。少し他の視点の発表を聞いたら、繋がりが見えてきたような気がした。他の視点の考えも聞けば1 Cの問いの答えが見えてくるかな。	・類似性のある問いで構成されたグループから全体への共有へと少しずつ共有の場を大きくさせていくことで、1 Cの問いに対する自分の考えが強化されていく感覚を持ち、次時の活動への期待が高まるようにする。	2

板書計画

プロジェクターにグループを表示

学習問題

「私はどのように変化したのか」を自分の追究の視点から考えよう。

学習課題

叙述をもとにして考えたことをグループで共有しよう。